

平成28年9月12日

総合政策局 安心生活政策課

「バリアフリー基本構想作成に関するガイドブック」の改訂について

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて本年8月にまとめられた「ユニバーサルデザイン2020 中間とりまとめ」の施策の一環として、平成20年に策定した「バリアフリー基本構想※作成に関するガイドブック」を改訂しました。

これにより、市町村による鉄道駅等を中心とした面的なバリアフリー化の取り組みが、一層促進されるものと期待しています。

※高齢者、障害者等が日常生活等で利用する鉄道駅、官公庁施設等相互間の移動の円滑化を目指し、地区を指定して、公共交通機関、建築物、道路等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために市町村が作成する構想

<改訂の経緯>

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、ユニバーサルデザイン化・心のバリアフリーを推進し、大会以降のレガシーとして残していくための施策を検討するため設置された「ユニバーサルデザイン2020関係府省等連絡会議」において、中間とりまとめがなされました。

この中で、駅等を中心としたハード・ソフト両面における面的なバリアフリー化の推進に向けて、バリアフリー基本構想の策定を促進するため「バリアフリー基本構想作成に関するガイドブック」を改訂することとされました。

国土交通省では上記連絡会議における検討と並行して、有識者・障害当事者団体・行政関係者からなる改定検討委員会における議論、パブリックコメントを進めていたところ、この度ガイドブックの改訂を行うこととしたものです。

<改訂のポイント>

- 面的・一体的なバリアフリー整備の効果について図・写真付きで解説
- 視覚障害者、聴覚・言語障害者等への情報提供のあり方や、バリアフリー教室といった教育活動など、ソフト施策の好事例を紹介
- バリアフリー化を進める重点整備地区の選定や、構想に盛り込む特定事業の設定について具体例で紹介
- 自治体等の取組体制や協議会の運営のあり方、地域特性に応じた施策等について具体例で紹介
- 基本構想作成後のフォローアップのあり方等について具体例で紹介

<関連資料>

- [改訂版ガイドブックの本体、参考資料、PR資料（国土交通省ホームページ）](#)
- [パブリックコメントの結果について（e-Gov）](#)
- [ユニバーサルデザイン2020関係府省等連絡会議について（官邸ホームページ）](#)

| | | |
|--------|---|---|
| 問い合わせ先 | 国土交通省 総合政策局 安心生活政策課 | 課長補佐 島村 泰彰（内線：24-215） 係長 米澤 崇（内線：25-506） |
| | Tel:03-5253-8111 直通:03-5253-8304 Fax:03-5253-1552 | |